

周波数ひっ迫対策のための国際標準化連絡調整事務 平成24年度事前評価結果

(5点満点)

案件名	実施期間	主な評価コメント	評価
次世代移動通信の国際協調に向けた国際機関等との連絡調整事務	H24-H27	<ul style="list-style-type: none"> ・IMT-Aの関連技術の標準化提案を引き続き推進するための活動として重要性、必要性は納得できる。予算額も妥当と思われる。 ・これまでと同様に、我が国がリーダーシップを取っての標準化の推進が期待される。 ・継続性を大切にすること。 	4.3
79GHz帯等を用いた移動通信技術の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H24-H28	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国のITS無線技術の国際標準化を目指して活動するもので、重要な調整事務である。 ・ITU-R以外の地域標準化機関や団体との協調・連携も重要であると考える。 ・我が国の方針をこの分野の標準化に反映させる上で必要な案件と思う。 	4.3
次世代GMDSS(全世界的な海上遭難・安全システム)の要素技術の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H24-H28	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代GMDSSに必要な周波数帯の検討が2016年のWRC-16で始まるとすると、本案件の必要性は高い。また、関連会合が多数にわたるため、予算額も妥当である。 ・日本の得意分野としてビジネスができるようにしてほしい。 ・GMDSSの近代化は重要な課題であり、我が国からの継続的な寄与が大いに期待される。欧米はもちろん、APT諸国との連携を強めてもらいたい。 	4.4